

特定非営利活動法人 千葉県介護支援専門員協議会 令和4（2022）年度 第1回通常総会議事録

- 開催日時 令和4年6月11日（土） 10：00～11：20
- 開催場所 W e bによる開催（Zoom）
- 会員総数 634名（令和4年6月1日現在）
- 出席者数 412名（内、委任状出席385名）
- 開会

本総会は、出席が27名、委任状出席が385名で合わせて412名となり、正会員総数が過半数に達したため、本会定款第33条の規定により有効に成立した。

○審議事項

- （1）第1号議案：令和3（2021）年度事業報告
- （2）第2号議案：令和3（2021）年度決算・監査報告
- （3）第3号議案：令和4（2022）年度事業計画（案）
- （4）第4号議案：令和4（2022）年度予算（案）
- （5）第5号議案：役員の変更について（案）

※採決はZoom機能の「挙手機能」を使用。

○議事の経過の概要及び議決の結果

- （1）第1号議案「令和3（2021）年度事業報告」及び第2号議案「令和3（2021）年度決算・監査報告」について執行部より資料を基に説明があり、審議された。

○質問 第2号議案について

収入の部「4その他」にある地域医療介護確保総合基金が2年分で200万ほど計上されているが、本来（1年分）は半分ということか。

●執行部からの回答

ご指摘の通り。本基金の活用は令和2年度からであったが、令和2年度の入金が年度をまたいでしまい未計上であったことから今年度計上している。

○質問 第2号議案について

令和3年度は800万ほどが繰り越しとなると思うが令和2年度の繰り越し金はあるのか。

●執行部からの回答

繰越金はない。昨年の総会でもご説明をさせていただいたが、昨年は研修が思うように動いておらず、会の財務が危機的な状況に陥る可能性があった。しかし、今後はオンライン研修が主流に

なることは確実であり、法定研修のスタイルが変わる。会員サービス及び法定研修（更新研修）にできる限り支障が出ないように、単年度だけで考えるのではなく先を見越して機材等の必要なものは先駆的に導入していく、ということをして理事の理解も得ながら進めた。その結果、昨年度は大幅なマイナス決算にはなったが、昨年度の投資が今年の収支を支えた形となった。

○事前質問 第1号議案について

県の協議会の会員数は多いと思いますか、少ないと思いますか。そのように思われる理由を教えてください。私の周りにはほとんど会員の方はおりません。この点に関してどのように考え、どうしようとしているのですか。

●執行部からの回答

この件に対して、課題はいくつかあると考えている。まず、地域差の問題。県内でも会員が多い地域、少ない地域があることは承知している。比較的ケアマネジャーの人数が多い地域ほど入会率が低い傾向にあることが課題と捉えている。2つめは、入会者と退会者とのバランスである。長らくケアマネジャーとしてご活躍されてきた方が退職の時期に差し掛かっている。新たな方に入会いただかなければ現状の会員数が維持できない。その取り組みが必要と感じている。3つめは組織率の考え方である。正確な数字は手元にないが、県内における居宅介護支援事業所の数を基本としたとき、当会の会員数は決して高い組織率とは言えないと考えている。全国の動きとしては、ようやく全ての都道府県に支部ができた。つまり三層構造の課題であった全国支部がすべて揃ったことになる。千葉県では、会員のご理解ご協力のもと比較的早い段階で一括入会が出来ていたが、全国的には26/47に留まっている。全国の会員数は現在33,901名と徐々に増えている。関東圏を見ると、近年、茨城県が会員数を急激に伸ばしている。日本介護支援専門員協会の代議員数は会員数に比例することから、千葉県は多くの議決権を有していることになる。しかしながら、最も多いのが大阪府、さらに兵庫県、九州地区も多い。他の専門職との比較においても更なる組織率の強化は必要と考える。なお、これらの全国的な数字は、日本介護支援専門員協会の会員ページから見るができる。

○事前質問 第1号議案について

資料P.21の委員の中に、第三者（介護、医療ではない分野の方々という意味です）は入っていないのはなぜですか。

●執行部からの回答

医療と介護に関わらず、もっと様々な場面で活躍できるのではないかと、という意図だと思う。それに基づき回答させていただく。その通りだと感じている。今後、現役世代の人口の急減、少子高齢化など、様々な社会的な課題がある中において、今後も介護支援専門員は必要とされ、むしろ役割はますます重要になっていくと思われる。県の協議会としても、さらなる活動の場を広げられるよう進めていきたいと考えている。すでに各地区においては先駆的な活動を行っているところもたくさんあると聞いている。そのような情報を集めて会の活動に活かしていきたいと考えている。

○事前質問 第1号議案について

オンライン会議の意義について

●執行部からの回答

当会では、コロナ発生から現在まで、感染対策を講じながらも事業をストップさせないことを念頭に、オンライン環境を整えつつ、ほぼ全ての会議をオンラインで実施してきた。移動時間の減少による出席率の向上や隙間時間などの活用、タイムリーに情報交換ができるなどの“メリット”を実感しつつ会議の質向上もされてきていると感じている。その反面、コミュニケーションの不全感や細かい部分の認識の“ずれ”、加えて、コロナ前に比べると会議自体の開催回数が3倍になるなど課題も出ている。しかしながら現状をふまえると今後も感染状況や会議の内容を考慮しつつ、オンラインと参集の“良いとこどり”をしながら進めていければと捉えている。

その他質疑が無く、採決を凶ったところ第1号議案「令和3（2021）年度事業報告」及び第2号議案「令和3（2021）年度決算・監査報告」は満場一致により可決、承認された。

（2）第3号議案「令和5（2023）年度事業計画（案）」及び第4号議案「令和5（2023）年度予算（案）」について執行部より資料を基に説明があり、審議された。

○質問者 第3号議案について

昨年の資料では、BCPのことが記載されていたが今年は記載がない。BCPの策定には、現在も多くの事業所、管理者が苦んでいると思う。事業所を運営する立場からも、その辺を取り込んだ形で、例えばサポート委員会などで考慮（支援）していただくことはできないか。

●執行部からの回答

記載はないものの、特に事業計画から外したわけではない。すでに災害対策委員会では、今年（令和4年度）に入り複数の地域に講師を派遣しサポートを行っている。少しずつ浸透はしているものの、現場では不安な声があることは承知しており、引き続きサポートできるような活動は進めていく。今年も台風等による停電、あるいは地震、ライフラインの老朽化などによる様々な災害が予想される。県の協議会としても継続して周知を凶っていく。また、ご要望いただいたサポート委員会では、事業計画にある「④ホームページでの情報提供」においてサポートしていきたいと考えている。さらに広報委員会としてはBCPをテーマに連載企画（ちばケアマネ通信）を今後予定している。会としても非常に重要視しているので、いただいたご意見をふまえ各委員会と連携して取り組んでいく。

○質問者 第4号議案について

会の運営、資金繰りを心配している。先ほどの決算書にあった基金や補助金が予算書では計上されていない。これは令和4年度は当てにならないということなのか。どういう形で補助金を確保して頑張っているのか、を知りたい。昨年のような職能団体としての存続も難しい財務状況でも介護支援専門員は「倫理の向上」と言われている。会の活動を広げるのも大事だが、きちんとした資金面などの支えがなければ、地域や他の職種のところまで手を広げることができず、十分に活動はできない。我慢の職種、団体ということになる。ボランティアの団体ではない。そういうところも考えて活動していかないといけないのではないのか。

●執行部からの回答

ご指摘ありがとうございます。まず補助金等が下りた経緯についてだが、これらは予め県から承

認されていたものではない。事業を実施していく中で、事業実施の必要性やそれに係る経費等を随時報告し、当会としても事業を継続するために必要な支援を要望し続けた結果、令和3年度末に補助金として下りたものである。令和4年度も同様であり、当会としては、補助金の有無に関わらず各事業は実施しなければならないものであり、令和4年度も両事業の補助金等の要望をしているところであるが、本日現在、県で正式に承認されているわけではないことから予算には計上していない。

○事前質問 第3号議案について

事業計画について主任ケアマネや管理者向けの研修会を県の協議会として企画してほしい。メールによる情報発信をしてほしい。

●執行部からの回答

当会としては、研修会支援として「講師派遣事業」と研修委員会の「独自研修」がある。まず地域支援としての「講師派遣事業」では、地区を活性化させたいという思いで行っている。すでに動いているものもあるので情報提供を今後もしていきたい。今回の資料に掲載してあるのは、県協議会に正式に依頼がきたものであり、これとは別に役員等が現場の立場から、直接の対応として個々で動いているものもあることをご理解いただきたい。次に研修委員会としては、千葉県全域を対象にしており、できる限り多くの方に参加いただく企画としているため、主任に特化した企画は今のところないが、声があがってきたことを今後の検討材料の一つとして企画の中に入れていくことも考えたい。なお、研修会はオンラインを中心に企画しており、法定研修と同様のグループワークができるか否かも検討している。主任ケアマネジャーといっても一人のケアマネジャーであり、当然、悩み不安を抱えていると思う。ご指摘の通り主任ケアマネジャーや、管理者向けの研修が十分とは言えないかもしれない。各地区から声をいただき、県の活動とあわせ各地区の活性化も図りたいので是非協力をお願いしたい。

質疑が無く、採決を図ったところ第3号議案「令和5（2023）年度事業計画（案）」及び第4号議案「令和5（2023）年度予算（案）」について満場一致承認された。

（3）第5号議案「役員の変更について（案）」について執行部より資料を基に説明があり、審議された。

その他質疑が無く、採決を図ったところ満場一致により第5号議案「役員の変更について（案）」が承認された。

以上